

書籍「キャッシュレス・セキュリティガイド」

最新のセキュリティ動向やPCI DSS等の事例、グローバルの状況を徹底網羅

TIプランニングは、書籍「キャッシュレス・セキュリティガイド」を2021年2月22日に発行予定です。

クレジット取引セキュリティ対策協議会が策定した「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画」により、国内の決済事業者、加盟店の取り組みは大きく進展した。国内でも「国際水準のセキュリティ環境」に徐々に近づいているといえる。

その一方で、国際的な不正犯によるカード情報の窃取、不正手口の多様化、セキュリティ対策が脆弱な決済事業者の参入などにより、不正利用被害額は増加しているようだ。今後は、実行計画後の取り組みとなる「ポスト2020」により、変化する不正利用への対策が求められる。

TIプランニングでは、これまで「paymentnavi(ペイメントナビ)」によるセキュリティ関係の記事紹介、「ペイメントカード・セキュリティフォーラム」等のセミナー開催、複数の冊子やレポートの発行などを行ない、不正対策関係の記事を紹介してきた。

「キャッシュレス・セキュリティガイド」では、最新のセキュリティトレンドや事例を盛り込んだ内容となっている。本書の発行により、国内ですそ野が広がるキャッシュレスサービスの不正利用対策の一助になれば幸いである。

Cashless Security Guide

キャッシュレス・セキュリティガイド



株式会社 TIプランニング

目次 キャッシュレス・セキュリティガイド

■第1章 ペイメントセキュリティ外観
「ポスト2020」、実行計画後のセキュリティ対策の動向は？
国内でも利用が拡大、多様化する決済において不正対策は重要に

■第2章 PCI基準の動向
PCI SSC ペイメントセキュリティ、現在と将来のニーズに応えて

PCI DSS 準拠事例
国際セキュリティ基準「PCI DSS」準拠に向けた取り組みは？
①ローソン銀行
「ローソン Ponta プラス」のイシューング業務でPCI DSS 準拠
国際的な決済のセキュリティ基準を想定したシステム設計
②ミクシィ
サーバレスでのPCI DSS 準拠で運用コストと負荷を軽減
IDと決済基盤を集約した次世代のシステムを構築
③QUADRAC
交通決済サービス「Q-move」提供に向けてPCI DSSに準拠
トークン化の採用で極小化を図り、クラウドサービスでインフラコスト削減
④Paidy
あと払いサービス「ペイディ」が包括信用購入あっせんに向けてPCI DSS 準拠
セキュリティのエキスパートを有し、常に最新の対応を意識
⑤テレコムクレジット
PCI DSS 準拠の決済システムとしてサーバレスアーキテクチャ導入
AWS 責任共有モデルでPCI DSSを含む高度なセキュリティ対策を実施

TIS
金融システムのAWS活用 厳しいセキュリティ要件に対応するための注意と対策

NTTデータ先端技術/タレス DIS CPL ジャパン
PCI SSCの最新ソフトウェアセキュリティ基準の概要(アップデート版)
NTTデータ先端技術の「PCI トータルサービス」のご紹介

グローリー
GCAN センターで「PCI P2PEソリューション」のプロバイダー認定を取得
加盟店に非保持と同等/相当のセキュリティ措置を提供へ

ルミーズ
カード情報を内回りで処理できる「PCI P2PE」の仕組みや考え方は？
基準への対応は約7割を占める鍵管理が重要に

デュフズードジャパン
PIN入力装置のセキュリティ基準「PCI PTS POI」認定取得の概要は？

ネットムープ
市販デバイスを決済端末に使用する「SPoC」と「CPoC」
国内での普及やセキュリティのポイントは？

■第3章 不正利用防止の取り組み

マクニカネットワークス/GMOペイメントゲートウェイ
日本のクレジットカード、オンライン不正の実態と対策~大量の不正アカウント検出、多額のチャージバック被害を防いだ成功例~

アクル
クレジットカード不正対策ソリューション「ASUKA」のご紹介とチャージバック対策の本質について

ジグザグ
「WorldShopping BIZ」で海外ユーザーのECでの買い物を支援
特許取得のスキームで不正決済を防止、EC事業者の金銭被害を解消

クレディセゾン
クレジットカード不正使用検知システムにAIを活用
人手のルール設定の負荷を軽減し、被害額が顕著に減少

■第4章 口座不正防止の活動

一般社団法人キャッシュレス推進協議会
「コード決済における不正な銀行口座紐づけの防止対策に関するガイドライン」を策定
業界を挙げて継続的なコード決済のセキュリティ強化に取り組む

カウリス
日本は世界で最もマネーロンダリングがしやすい国——？
悪質な犯罪を防ぐため官民一体の本気の取り組みが求められる

■第5章 3-Dセキュア2.0のプレイヤー

大日本印刷/NTTデータ
イシューおよび加盟店向けEMV 3-Dセキュア対応ソリューション
販売機会ロスを極力抑えながら取引の安全性を確保

●RSAセキュリティ
3-Dセキュア2.x対応のソリューション発売、JCBの「J/Secure 2.0」に対応

●KONA インターナショナル
日本初「FIDO2」対応の指紋認証ICカードの発行を開始
パスワードを使わず漏えいリスクを低減、ログインをよりセキュアに

■第6章 国際ブランドの取り組み

Mastercard
最新の国際的な不正利用、セキュリティ対策の動向について

ビザ・ワールドワイド
Visaのセキュリティ強化に向けたビジョンと取り組み

■第7章 世界の不正決済特集

58
世界で特に大きな被害をもたらしている不正とは？

- 1、COVID-19(コロナウイルス)のパンデミックとカード不正(Fraud)
- 2、カード不正・犯罪の進化(1980年~2020年)
- 3、デジタルIDに対する不正攻撃
- 4、個人情報窃盗(Identity Theft)
- 5、フィッシング(Phishing)詐欺
- 6、ATO(Account Take Over、口座の乗っ取り)
- 7、イギリスのAPP(Authorized Push Payment Fraud、承認されたプッシュペイメント不正)

●編集・発行：TIプランニング ●発売：2021年2月22日
●価格：本体価格2,000円+税(税込価格2,200円)→送料は無料となります。
東京都新宿区若葉1丁目4番地2 スミカワビル4F TEL:03-5357-7077

ペイメントナビのWebサイトから
お申し込みが可能です。

お問い合わせ：support@paymentnavi.com